

## 「いのちと念仏」相談センター について

「いのちと念仏」相談センターは浄土 真宗本願寺派総合研究所に設置されて いる相談窓口です。

## **25** 075-371-5811

月・水 12:30~16:00 宗務所休日・祝日は受付を休止します 相談は無料です

## 心の悩み相談

- ・家族関係について
- さまざまな不安
- ・ただ話を聞いて欲しい

・・・などのご相談に、臨 床心理学を専門とする心理 相談員が応じます。なお、 ご相談内容に関しての助言 は控えさせていただきます。

住職と森嶋がSNSに日々の出 来事をつづっています

グラム



インスタ 国際国 フェイス 黒藤県 ブック







おあさじ



・毎朝9時から(火曜休)

・30分程度

どなたでもご参加いただけます



640・8033 和歌山市本町 5 丁目 32 http://zensho-ji.com

火曜日・偶数月第1日曜定休

## 善称寺創建500年記念

善称寺は永正15年(1518年)に創建されました。開基は左近大 夫義兼(法名釈了道)と記録されており、現住職は23代目です。 戦前は北福屋町に位置していましたが、和歌山大空襲で全焼し. 昭和23年に県の区画整理事業により現在の本町5丁目に換地されまし た。その後本堂が建て直されるなど、多くのご門徒さまのご懇念によって支え られ、お念仏の道場としての歩みを続けております。

そして平成30年(2018年)に創建500年の節目を迎え、その歴史の重みを改 めて噛みしめると共に、次の500年に向けて何か具体的なものを残せないか と企画したのが右の図、二河白道図です。二河白道図は、中国・唐の 善尊大節(613~681)がその着観経疏」でお説さになった「二河白道 のたとえ」の内容を描いたもので、浄土真宗の教えのかなめがやさしい 物語の中に表現されたものです。善導大師は「二河白道のたとえ」を説 くいあたりこう述べておられます。

すべての往生を願う者に告げる。念仏の行者の ために一つのたとえを説いて信心をまもり、念仏 の教えへの非難を防ごう。

念仏の教えへの非難」とは、一生涯悪を重ねた凡夫でも念仏を 称えて救われる、という観経」という経典に対する批判です。 当時の仏教学者たちからは、それは悪人に仏縁を結ばせるために説いた 釈尊の方便だと誤って理解されていました。

これに対し善善太師は「観経疏」を著し、観経」はすぐれた聖者が修行に よって往生することが説かれたお経であることを明らかにされたのです。 これは、一生涯悪を重ねた覧夫は他の誰のことでもなく、この私の ことであるという厳しい視点です。

善導大師のこの功績を讃えて親鸞皇んはこう仰っておかれます。

善尊大師証をこひ 定散二心をひるがえし 貪瞋二河の比喩をとき 弘願の信心守護せしむ (善尊大師は、あらりる仏がたい証明を請い、自力の心をひるがえ させるため、貧敬と瞋恚の二河のたとえを説き、信心を護って くださった。)

さて、この「二河白道のたとえ」は、いったいどんな「たとえばなし」な めでしょうか。気になるところですが、今後この図をみなさんに見て いただきながか披露いたしますのでお楽しみに、準備が出来次第、 様々なご法事でお伝えしていきます。

二河白道図を制作してくださったのは、京都在住の型梁的作家である 関美穂子さんです。制作は「二油道のたとえ」を朗読するとこ ろから、始まりました。何度かの試作を経て少しづつ理解を深めながら 進めるという手間のかかるものでしたが、果敢にチャレンジレてくださり見事な

仕上がりになりました。 善称寺の歴史に残る 室物として、また伝導の 手段としてたいに治用 させていただきます。



関美穂子さんと

発行元

浄土真宗本願寺派 善称寺